

## ■ご利用価格と主な機能

毎月確認したい帳票を自動作成する STORY 機能、仕訳の摘要をキーにした分析、資金繰り予測、予算未達成の場合の見直し機能(利益感度分析)、ロカベン連動、McSS(中小企業経営診断システム)データ連携など、最高レベルの予実管理が行えます。

月額利用料	5,500円(税込)
予算作成	YOJITSUの予算は、前期会計データを基に会社に必要な目標利益を設定し、この目標利益から逆算して予算を自動作成します。
予実成績表	毎月の実績をアップしたら、予実成績表で利益と売上の予実対比を大きく捉えます。予算との差異が大きなものも捉えて対策検討に役立ちます。
STORY (RPA)	毎月見たい分析資料をSTORYへ保存、翌月に仕訳を送信するだけで、分析資料が自動作成され、手間なく経営分析ができます。
現状把握	変動損益構成の比較や、科目比較グラフ、Zチャート、ロカベン連動など豊富な分析グラフを用意しています。
摘要分析	摘要分析で傾向と対策を深掘りします。財務会計では見えない摘要による分析が可能です。
資金繰り予定表	資金繰り予定表で、損益予測と借入金や投資などから翌月以降の資金ショートを予測し、いち早く対策検討・実行に繋がります。
予算見直し	限界利益の感度分析で視覚的に売上・変動費の組み合わせを見つけ出し予算見直しを行います。
会計帳簿	仕訳帳、総勘定元帳、合計残高試算表の財務3票も用意
McSS データ連携	約100万社からの格付け評価、McSS(中小企業経営診断システム)へデータ連携可能です。

## ■動作環境

### ●対応ブラウザ

Google Chrome(最新版)  
Microsoft Edge(最新版)  
Mozilla Firefox(最新版)  
Internet Explorer11

### ●推奨設定

解像度:1280×1024px以上  
Cookieの保存と読取が可能であること  
JavaScriptの実行許可があること

※最新の情報はYOJITSUサービスサイトにてご確認ください。

 **YOJITSU**® <https://yojitsu.net/>

運営:株式会社シスプラ ☎ 0120-638-377

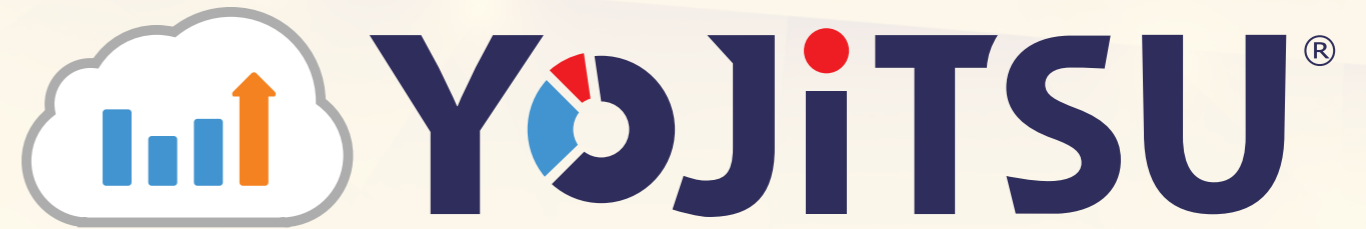
■東京営業本部 〒108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

■大阪支店 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-8-8 ワークステーション新大阪1203

■本社 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-10-3 問屋町センター第2ビル 6F



## クラウド予算実績管理システム



# 財務会計ソフトを 未来を見る経営羅針盤に 進化させる



# YOJITSUが財務会計ソフトを「未来を見る経営羅針盤」に進化させます!!

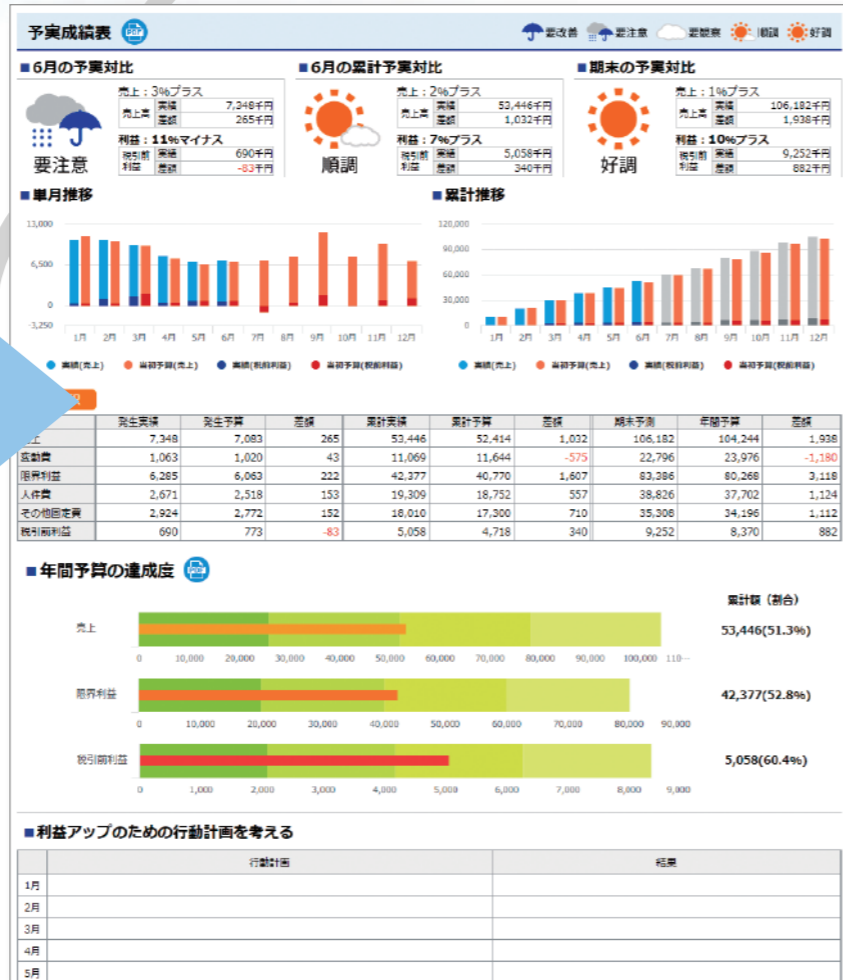
クラウド

毎月の仕訳を取込むだけで!

お使いの会計ソフト



- シスプラ ● 弥生 ● ソリマチ
- MJS ● TKC ● OBC
- JDL ● PCA ● EPSON
- ICS ● 応研 ● Mikatus
- free ● マネーフォワード ● 日本ビズアップ
- ビズソフト ● フリーウェイジャパン ● 全国税理士データ通信



## YOJITSUなら予実管理が一目瞭然!

### 予算達成の場合...

現状維持か? 販促費アップ? 給与・賞与アップ? 財務状況が可視化されることで、経営者が正確に財務状況を把握、次のアクションを起こすための参考にできます。

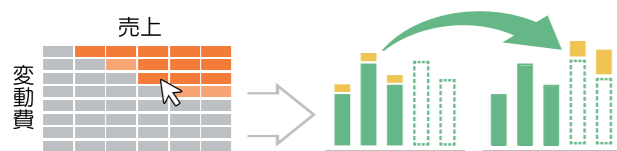
### 予算未達成の場合...

目標利益にいくら足りないのか。達成までに必要な売上はいくらなのか? どの商品? どのサービス...? YOJITSUを使えば売上の内訳を探ることにより早急に原因を究明し、素早い対応策の検討が可能となります。YOJITSUでは期の途中で予算の見直しも可能です。

### 予算の見直し

スタンダードプラン

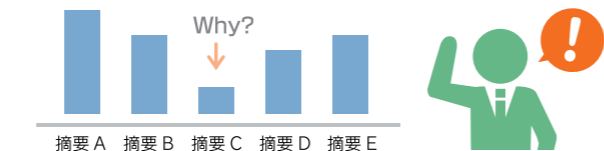
限界利益感度分析で予算達成のポイントを探り、予算未達分を残りの月へ配分し、予算を修正します。



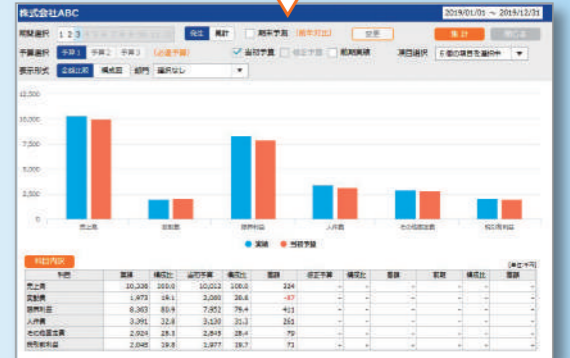
### 対策検討

スタンダードプラン

仕訳入力された摘要を集計し比較・分析ができます。財務会計ソフトでは見えなかった様々な角度から原因分析を行えます。



### 変動損益項目でチェック



### 変動損益構成図でチェック



### 売上科目や補助など推移と期末予測をチェック



予算達成度を大きく捉えた後、具体的な金額を把握

## YOJITSUで予実管理サービスを導入すれば...

- スピードアップ**  
先月の実績が予実対比のレポートとしてクラウド上で確認できる!
- 理解度アップ**  
試算表などを読み解かずともシンプルに売上や利益を分析できる!
- 継続率アップ**  
予実管理の作業コストが大きく削減でき継続できる!
- 顧問先満足度アップ**  
経営者のお金の悩みが軽減されて安定経営ができる!



# STORY YOJITSUの「STORY」が新たな価値を創出。

## ■ RPAの導入により分析資料作成のスピードを加速度的にアップ

毎月見たい分析帳票をSTORYに保存しておけば、仕訳を送信するだけで最大100種類の分析帳票を自動作成してしまう最先端のRPAです。

※RPA…Robotic Process Automation / ロボティック・プロセス・オートメーションの略です。主に定型作業を、パソコンの中にあるソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念です。

STORYへ各帳票の設定状態を保存

顧問先への月次報告書としてPDFファイルを作成できます。

保存した各帳票を一覧表示

経営者が見るべき達成度をチェック

科目	実績	構成比	当初予算	構成比	差額	前期	構成比	差額	修正予算	構成比	差額
売上高	7,943	100.0	7,524	100.0	419	7,398	100.0	545	-	-	-
変動費	1,437	18.1	1,380	18.3	57	1,355	18.3	82	-	-	-
限界利益	6,506	81.9	6,144	81.7	362	6,043	81.7	463	-	-	-
人件費	3,132	39.4	2,953	39.2	179	2,955	39.9	177	-	-	-
その他固定費	2,879	36.2	2,707	36.0	172	2,719	36.8	160	-	-	-
税引前利益	495	6.2	484	6.4	11	369	5.0	126	-	-	-

## ■ 経営に役立つ月次報告書としても活用

「STORY」に保存された各分析資料は「月次報告書」としてPDF化し、印刷することができます。役員会議などで活用でき、今後の経営判断を下す為の重要な資料となります。

# シンプル!わかりやすい!YOJITSU

変動損益計算をベースに予実管理を行うというシンプルな考え方を経営者や幹部役員の共通言語にして毎月の経営を見える化します。

## Point ① 会計データ取り込みが簡単

➡ 全ての会計ソフトと連動が可能

市販されている全ての会計ソフト(予定も含む)からデータ取り込みが可能なので、現在使用している会計ソフトを変えることなく「YOJITSU」を活用することができます。

# YOJITSU

- シスプラ
- MJS
- JDL
- ICS
- freee
- ビスソフト
- 弥生
- TKC
- PCA
- 応研
- マネーフォワード
- フリーウェイジャパン
- ソリマチ
- OBC
- EPSON
- Mikatus
- 日本ビズアップ
- 全国税理士データ通信

## Point ② クラウドだから共有が簡単

➡ 財務状況・予算数値をリアルタイムに共有できる

YOJITSUでは共有ログインIDを作成することで経営者と会計事務所や経営コンサルタントなどとクラウド上のデータをリアルタイムに共有することができます。OS問わず、どのパソコンでもタブレット端末でもOK。経営者は常に予算数値を意識して毎日の経営に取り組む事が可能となります。



## Point ③ ウィザード形式で目標予算作成が簡単

➡ 変動損益構成図でお金の流れを見ながら予算作成

前期会計データをもとに収支分岐点の考えから今期必要な目標利益から逆算した予算を自動算出します。手元資金を減らさずに借入金の返済、納税ができるための必要な売上高を明確にし、また将来に備えた繰越資金を考慮した予算作成が簡単に作成できます。

税引前利益を指定

目標とする税引前利益を算出しました。修正する場合は画面上金額を入力してください。

税引前利益 12,000 円 | 法人税等 4,681 円 | 繰越前利益 7,319 円

借入金返済 4,379 円 | 繰越前利益 7,319 円 | 繰越前利益 7,319 円

繰越前利益 7,319 円 | 繰越前利益 7,319 円 | 繰越前利益 7,319 円

繰越前利益 7,319 円 | 繰越前利益 7,319 円 | 繰越前利益 7,319 円

Point 4

# 摘要分析で傾向と対策を深掘り

→ 財務会計では見えない摘要集計による3期比較グラフを自動作成



「YOJITSU」に取り込まれた当期・前期・前々期の全ての仕訳を解析し、入力されている摘要を自動集計します。摘要欄に記載されている商品や取引先、地域や担当者など様々な項目をキーにデータ集計し、3期の比較グラフや推移グラフを作成することができます。

商品ごとの売上を摘要集計し3期比較

商品売上の月次推移を3期比較

Point 5

# 資金繰予定表でいち早く資金不足を掴み対策を練る

→ 損益予測と借入金や投資などから翌月以降の資金ショートを予測

損益計算の収益と費用は現預金の出入りには関係なく経済的事実が発生した期間に計上します。利益が出ているにもかかわらず資金不足になるなど、損益計算上の利益と手元に残る現預金が一致しないのはこれが原因です。

翌月以降の損益予測と投資等の予定登録から資金繰予定表を作成すると、将来的に起こる資金不足の可能性が早期に発見できます。事前に予測ができれば、融資の申し込みなど、資金繰りに困らないような対策が早めに立てられます。

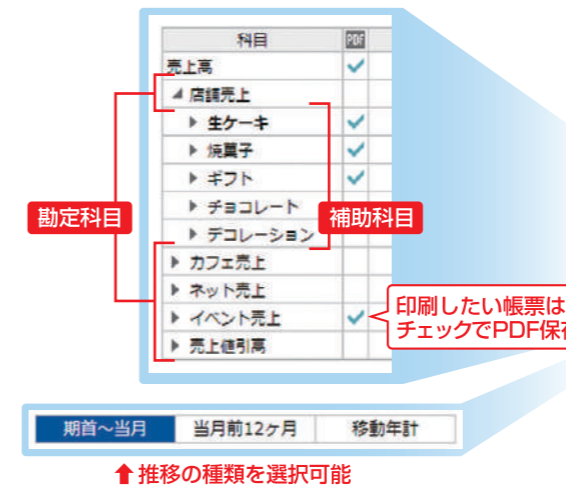


Point 6

# 売上の細分化分析が業績向上のキーポイント

→ 売上の細分化による予実対比が経営の実態をあぶりだす

全ての支出を賄うのは限界利益(粗利)です。そしてその限界利益を生み出すのは売上に他ありません。制度会計のように売上という勘定科目が一つだけでは経営の実態を捉えることはできません。勘定科目は複数に分け、できれば補助科目も設定し、部門別に分けられたら完璧です。売上の中には良い売上もあれば悪い売上もあるのです。何が良く何が悪いのか、急に悪くなったのか徐々に悪くなったのか…細分化された売上で予算を作成し、その予算と比較することで経営の実態をあぶりだせば、おのずと対策が見えてきます。



# YOJITSU 作業フロー

